

## 議事（1）令和7年度主要事業の執行状況等について

令和7年度主要事業の執行状況等について、各課長から説明があり、その後質疑応答、意見等があった。

### 【質疑応答要旨】

#### 〔委員〕

**問1** 結核についてご質問させていただきます。説明では「3名」とのことでしたが、令和6年度事業年報112・113ページには「総数6名」と記載があります。また、30代や50代の方が含まれていることから、特定施設での流行があつたのではと考えています。「3名」という数字の状況と「6名」との整合性についてご教示いただけますと幸いです。

**回答** 「3名」とは、令和6年度事業年報113ページ上段「(4)新規登録患者数」の記載で、その年に結核の発生届が提出された新規登録者数を指します。いすみ市では3名が該当します。一方で、「6名」は結核登録者数であり、登録者数には治療中や服薬中の患者も含まれ、結核患者への服薬支援を行っている総数を示しています。

**問2** がんの早期発見のため、発症に近い時期に健診へ誘導することが医療費抑制につながると考えています。「がん検診推進員育成講習会」で推進員を育成するとの説明をいただきましたが、講習内容や推進員の配置地域、具体的な活動内容について詳しく教えていただけますと幸いです。

**回答** 推薦員育成講習会は県の方針に基づき、長生保健所と夷隅保健所で隔年実施されています。具体的な人数設定はなく、保健推進員や栄養改善団体など健康関係の団体を対象に育成を行っています。講習内容は毎年テーマを選定し、乳がんなど未実施の内容を実施。講師は病院の先生やがん経験者など適切な方を選んでいます。

**問3** 昨夜の番組で帯状疱疹の早期発見と予防接種の重要性が強調されており、若い世代にも広がる疾患であるため、本市でも予防接種支援や情報提供を進めていく必要性を感じています。健康危機管理推進会議で帯状疱疹の取り組みがあれば教えてください。

**回答** 健康危機管理推進会議における取り組みは現在行っておりませんが、帯状疱疹予防にはワクチン接種が有効であり、地域で高齢者を対象とした費用補助の仕組みが整備されつつあります。早期発見や抗ウイルス薬の服用が重症化防止に重要ですが、具体的な予防策の提示は難しい状況です。メディアによる情報発信が受診促進につながる可能性があるため、広く周知することが必要であるとの認識です。

## 議事（2）意見交換

各委員から発言があった。

### 【意見要旨】

#### 〔委員〕

勝浦市では、病院の医師や看護師が中心となり、月1回「あおぞら診療所」を6ヶ所で開催し、健康相談や認知症予防活動を行っています。市民から好評を得ており、広報を通じて情報発信を行っています。

#### 〔委員〕

番組を通じて帯状疱疹の恐ろしさを実感し、早期予防接種の重要性を痛感しました。医療機関で接種が行われていますが、知名度が低く受診者が少ない状況です。補助金適用後も自己負担額が課題ですが、後遺症の可能性を考えると早期予防の意義は非常に大きく、積極的な情報発信と周知が必要です。

#### 〔委員〕

帯状疱疹の予防接種は自己負担額が大きく、子どもから接種できるよう定期接種化が必要です。現在は年齢制限の対象ですが、各世代が接種しやすい仕組みへの見直しが求められます。かつて20歳以上を無料化する提案を行いましたが財政的課題で実現せず、現行の仕組みが継続されています。国への要望を通じ、定期接種化を進めることが重要な課題であると考えます。

#### 〔委員〕

病院では看護師不足が深刻で、職員の休みが確保しづらく、来年度には病棟の一部閉鎖を予定する厳しい状況です。「あおぞら診療所」は意義ある活動ですが、全てボランティアで行われ、職員の負担が大きい現状です。また、特定の病院が地域救急医療の90%を担う状況が続いている。救急医療維持のため、地域住民と議論し、対策を講じる必要があると痛感しております。

#### 〔委員〕

日本の医療機関の約6割が10年以内に倒産し、医療従事者確保が難しくなるとの予測があります。地域医療を支えるため、病院間で役割分担を進める体制や高齢者向けの交通手段整備が必要です。各医療センターで連携し、千葉県のモデルとなる仕組みづくりを進めています。医療だけでなく、福祉全般、特に高齢者福祉や介護福祉についても重要な課題であると認識しております。

#### 〔委員〕

高齢化の進行に伴い、通院が困難になった方から訪問対応の依頼が増加しています。入れ歯の調整などの要望に応じるケースが増え、今後さらに対応が求められると予想されます。

そのため、高齢者の方々を支援するための仕組みや体制が整備されることが望ましいのではないかと感じております。

#### 〔委員〕

地域を守るには医療、福祉、介護が重要であり、道路も同様に欠かせない存在です。現在、医療と災害対応を目的に広域連絡道路の整備を進めています。亀田病院や塩田病院へのアクセス改善も期待されます。